

げんき通信

歯周病菌のお話

歯周病とは、歯の周囲にくっついたプラーク(歯垢)が歯と歯ぐきの間に入り込み、歯を支えている骨を溶かして、最後には歯が抜けてしまうという恐い病気です。軽症の人を含めると、成人の約8割がかかっていると言われています。

歯周病の原因は複数の細菌です。そして、歯の表面にくっついていて細菌の塊がプラークです。プラークはバイオフィームというバリアをつくるので、時間が経つにつれてはがれにくくなっていきます。歯周病が進行すると、歯と歯ぐきの間に歯周ポケットというすきまができ、さらにここにプラークが溜まりやすくなって、細菌の種類もより有害なものに変わっていきます。近年、この歯周病菌が口の中だけでなく、全身の健康に悪影響を及ぼすということがわかってきました。

◆【肺炎】口中の細菌が肺に入り込んで起るのが誤嚥(嚥下)性肺炎です。嚥んだ食物や唾液には歯周病菌が含まれていますが、飲み込んで普通は食道から胃へ送られるので問題ありません。ところが、高齢になると嚥下機能が低下して気管支の方に入りや

すくなります。この時、健康な状態なら、免疫力で細菌を押さえ込むことができますが、持病などで抵抗力の落ちた人では肺炎を起こしてしまいます。

◆【心臓病】歯周病のある人は心臓疾患にかかる可能性が高いことがわかっています。これは、歯周病菌が心臓の血管を詰まらせたり、血管の細胞を障害するからだと言われています。また、心臓の内部に菌が感染して心内膜炎を起こすこともあります。

◆【糖尿病】歯周病のような慢性炎症があると、体内で炎症性物質と呼ばれるものがつくられます。この物質がインスリン(血糖値を下げるホルモン)の働きを邪魔するために、高血糖状態になります。また、糖尿病にかかっている人は毛細血管がもろくなっているので、口腔ケアを怠ると、歯肉炎から歯周病に



歯みがきを怠ると、定期的には歯科で歯石除去をお願いします。

◆【早産・低体重児】歯周病が進行して炎症が強まると、体内にプロスタグランジン(PGE₂)という物質が増えます。PGE₂には子宮を収縮させる作用があるため、予定日より早く陣痛が起きてしまうことがあります。また、そのままで済まなくても、頻繁に子宮の収縮が起きていると、胎児は胎盤から充分な栄養がもらえず、発育が妨げられて低体重児出産の原因にもなります。

歯周病の予防で最も重要なのがプラーク除去です。毎日の歯みがきを怠らないに行ない定期的に歯科で歯石除去をしてください。この時、正しいブラッシングの指導を受けるとよいでしょう。歯周病菌に有効な歯みがき剤やデンタルフロス、歯間ブラシなどを利用して、口の中からげんきになりましょう。



(木原店:薬剤師/まこと)

C O L U M N

げんきコラム

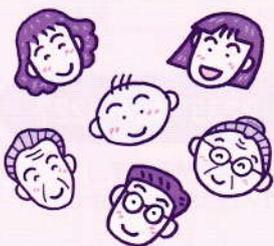
3回目のご紹介です!



シトラーレ...!!
知ってます?

くぼ薬局ではレモングラスのハミガキという商品をおすすめしていますが、たくさんの方々に気に入っていただきこの2年間で2600本以上を販売しました。レモングラスに含まれるシトラーレという成分が歯周病菌に対して殺菌効果を持っていることは福岡歯科大学の研究で実証されています。他の成分も、のみこんでも害のない自然素材が中心なので、子どもたちから高齢の方まで、安心して使っていただけます。ぜひ一度お試しください。

処方せんはぜんぶ
「くぼ薬局」に
おまかせください



すべての病院・医院の
処方せんを受けつけ
責任を持って調剤いたします。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

くぼ薬局

- 県庁通り店 ☎23-4550
- 中町店 ☎26-2817
- 木原店 ☎24-2233
- 中の小路店 ☎24-2882
- 西与賀店 ☎22-2311
- 医大通り店 ☎32-1133
- 北茂安店 ☎0942-89-1777